



県道の歩道部を活用した 社会実験を実施しました

群馬県 県土整備部 都市計画課

今回は、桐生市で活動している任意団体「KIRYU UNITED」と群馬県(県庁内の有志職員で結成した「群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム」)が協働し、7月に桐生市の県道歩道部で実施した社会実験(ナイトマルシェ)について、紹介します。

まず、この取り組みは、道路や公園などの公共空間を民間団体に活用してもらうことで、地域に賑わいを創出し、地域の活性化を図る事を目的としています。最近では、「官民連携まちづくり」として全国的に取り組みが始まっています。

今回の社会実験では、歩道部を活用し、飲食物販の出店、休憩スペースの設置、LED照明の設置などを行いました。開催日が決まったのは、6月中旬、開催予定日の約1ヶ月前でした。また、開催日は、仕事帰りの方も寄りやすいように、毎週金曜日に連続して3回実施することとしました。開催が決定してからは、関係機関との協議や出店者の募集などがあり、タイトなスケジュールでした。開催に必要な手続きとしては、道路使用許可申請、道路占用許可申請、保健所への届け出などがあります。道路占用許可については、今年度4月に道路占用許可基準が緩和され、公益性が認められれば路上に飲食や購買施設を設置できるようになったこともあり、スムーズに手続きを進めることができました。手続きのほかに、出店者の募集や周辺商店街への協力依頼などもありましたが、こちらは「KIRYU UNITED」が担当し、SNSや直接交渉により短期間でまとめることができ、官民連携まちづくりでは、民間団体の持つ繋がりや対応のスピード感が大きなメリットとなると感じた場面でした。

当初、出店者が集まるか心配な時もありましたが、無事に当日を迎えることができました。当日設置したLEDライトや芝生スペースなども好評で、たくさんの方々が歩道上で飲食やおしゃべりを楽しんでいました。当日にアンケート調査も実施し、来場者の方から、「良かった」や「また開催してほしい」などの声を聞くことができ、多くの方がこのような空間を望まれていることがわかりました。今後の官民連携まちづくりを進めていくうえで、大変有意義な社会実験となりました。



普通の様子



歩道上の店舗



人工芝等による休憩スペース



賑わう歩道

